

広報

きたはりま119



組合章

<https://kitaharima119.net/home/>

災害のない明るいまちづくり

vol. 27



(左から：はるさん、ゆうさん)

令和7年火災・救急・救助件数 (1/1～6/30)

	西脇市	加西市	加東市	多可町	中国道	管 外	合 計
火災	14	17	11	4	-	-	46
救急	1,121	1,126	1,121	531	8	2	3,909
救助	18	24	25	10	2	-	79



ホームページはこちら

消防長あいさつ

令和7年4月1日に消防長に就任いたしました小西でございます。

住民の皆様には、平素から消防行政に対して、格別の御理解と御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

近年、全国各地で大地震や記録的な豪雨災害など、自然災害が頻発し甚大な被害が発生し、多くの方々が犠牲となられております。

昨年の元日には能登半島地震が発生し、8月には日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震の発生を受け、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が初めて発令されるなど、多くの方が不安な日々を過ごされたことと思います。

当地域においても、大規模災害がいつ発生してもおかしくない状況であります。

本年は、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎え、改めて災害における教訓をどのように生かしているのかを強く考えるとともに、住民の皆様から消防に求められる期待や信頼の高まりを感じているところであります。

当組合は、平成23年4月に設立され15年目を迎えることになりました。

これまで、最新鋭の高機能消防指令システムの導入、管内10拠点24時間体制の構築等、広域化によるスケールメリットを生かした中での消防体制の充実、強化に努めてまいりました。

また、昨年度では地方公務員法の改正に伴う定年の段階的引上げを踏まえ、適切な定員管理の確

保のため、定数条例の改正を行い、今年度は、救急出動における現場到着時間の短縮に向けた出動エリアの見直し、また、水の事故に対するより効果的な資機材配置と出動体制の見直しを行いました。

さらには、増加する救急需要への対応のため、来年度に向けて日勤救急隊の創設を目指しております。

我々消防は、自然災害をはじめとするあらゆる災害に立ち向かうため、職員一丸となって厳しい訓練を重ね精進してまいります。

そして、職員一人一人の力を結集して、限りある資源の中で消防力を最大限に引き出し、地域に密着した消防として、住民の皆様の声に耳を傾け、期待と信頼に応えてまいりますので、当組合の消防行政運営に対する御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、この「広報きたはりま119」で発信する消防災情報が、地域住民の皆様にお役に立てれば幸いです。



北はりま消防組合

消防長 小西 康夫

令和6年度 情報公開条例及び個人情報保護条例の施行状況

北はりま消防組合では、より開かれた組合行政の推進を目指して、保有している行政情報について、閲覧や写しの交付を請求できる情報公開制度を実施しています。

また、より公正で信頼される組合行政の推進を目指し、組合で保有している個人情報について取扱いのルールを定めるとともに、開示、訂正等を請求できる個人情報保護制度を実施しています。

この2つの制度の令和6年度の実施状況を右表のとおり公表します。

令和6年度情報公開の実施状況

実施機関	開示請求件数	全部開示	一部開示	不開示	不存在	取下げ	審査請求
管理者	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

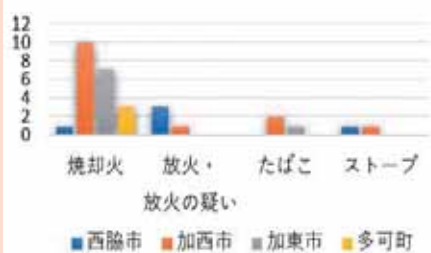
令和6年度個人情報開示実施状況

実施機関	開示請求件数	全部開示	一部開示	不開示	不存在	取下げ	審査請求
管理者	3件	0件	3件	0件	0件	0件	0件

令和7年上半期出火原因別火災状況

(1月1日～6月30日迄)

出火原因別火災状況



令和7年上半期の火災件数は46件となっており、主な出火原因のうちわけは、焼却火21件、放火・放火の疑い4件、たばこ3件、ストーブ2件となっています。

令和7年上半期 多かった出火原因は？

- 第1位 焼却火 21件
- 第2位 放火・放火の疑い 4件
- 第3位 たばこ 3件
- 第4位 ストーブ 2件

火元から離れないで!!



過去上半期の主な出火原因

	焼却火	放火・放火の疑い	たばこ	ストーブ
R6	25	3	1	2
R5	29	7		1
R4	29	3	1	
R3	21		1	



過去5年間の主な出火原因を比べてみても、あぜ焼き等の焼却火からの出火原因が格段に多く、北はりま消防組合管内の特徴となっています。

焼却火から建物に燃え移った事例や着衣への着火により亡くなられた事例もあり、十分注意が必要です。

気持ち良く暮らせる安全で安心なまちづくりのため、火災ゼロを目指しましょう。

地 域	見直し後	従 前
西脇市	富吉南町	西脇北出張所
	富吉上町	
	大木町	多可出張所
	野中町	
加東市	下久米	東条出張所
	上鴨川	西脇北出張所
	高岡	加西南出張所
	桜台	
多可町	中区門前	多可北出張所

救急出動エリアを見直しました

市町の枠にとらわれず、より迅速な活動を目的に、令和7年4月1日から左表のとおり救急出動エリアを見直しました。

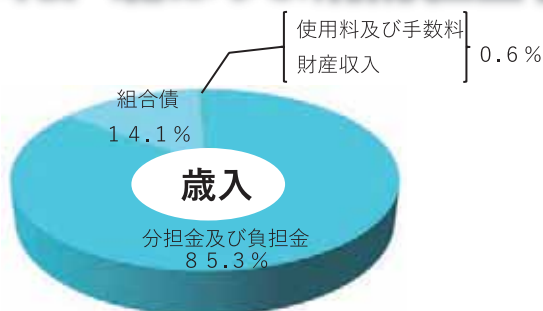
今後は、見直し後の署所から救急車が出動することになります。

※災害発生状況によっては、他の消防署・出張所からの出動となることもあります。



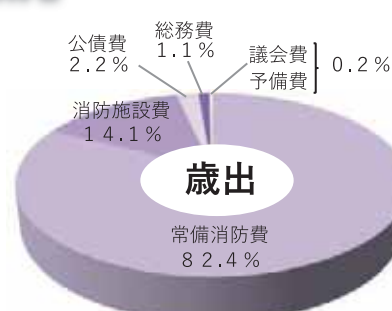
令和7年度 北はりま消防組合予算の状況

予算総額2,818,920千円



歳入

款	内容	金額
分担金及び負担金	組合を構成する市町からの負担金	2,404,966千円
使用料及び手数料	消防検査等の手数料	2,193千円
財産収入	基金の運用利子	801千円
繰越金	前年度の繰越金	1,000千円
諸収入	その他の収入	11,660千円
組合債	消防施設整備のための借入金	398,300千円



歳出

款(目)	内容	金額
議会費	組合議会の運営活動費用	349千円
総務費	組合全体の事務管理費用	30,957千円
消防費(常備消防費)	消防業務に係る費用(人件費含む。)	2,324,270千円
消防費(消防施設費)	消防施設の整備費用	398,734千円
公債費	借入金の返済費用	60,610千円
予備費	臨時的支出に備えておく費用	4,000千円

※歳入の85.3%を占める「分担金及び負担金」とは、消防組合の運営に要する費用を構成市町からご負担いただいているお金などを指します。また、歳出のうち82.4%を占める「常備消防費」とは、職員の給与や消耗品、備品の購入、消防・救急等の資器材の保守費用など、消防組合の運営に常時必要となる費用を指し、14.1%を占める「消防施設費」とは、車両の購入や庁舎の整備など、臨時的に必要となる費用を指します。



2025年度全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

加西特別支援学校と 山岳救助訓練を行いました

令和7年5月8日（木）、加西市善防山において、加西特別支援学校の生徒がハイキング中に転倒負傷した想定で、山岳救助訓練を行いました。

傷病者に応急救置を行い、担架に乗せて下山する際には、先生からの絶え間ない声掛けにより生徒が安心する様子が見られ、改めて声掛けの重要性が認識できた良い訓練となりました。

登山の際は、登山マップ、スマートフォン（予備バッテリーを含む）、飲料水・軽食、応急救置セット等を持ち、ケガ・熱中症・遭難等の事故に十分備えていただき、楽しい思い出をつくりましょう！



西脇市立西脇病院との 症例検討会の開催



西脇消防署では3か月に1回、西脇市立西脇病院と救急搬送に関わる検討会を行っています。

検討会では、119番通報から病院搬送までの間、救急隊員が判断に苦慮した事案や疑問が生じた事案について医師から医学的知見に基づいた解説や助言をいただきながら、相互に救急搬送に関する提案、協議を行っております。

今後も救急隊員の更なるレベルアップ、当地域の救急医療サービスの向上に努めて参ります。

泡消火薬剤による訓練実施！

令和7年5月7日（水）、14日（水）の2日間、加西市クリーンセンター（加西市中山町）において、泡消火薬剤を使用した訓練を実施しました。今年度は、加西消防署だけではなく、西脇消防署及び加東消防署からも職員が参加し、合計81名での訓練となりました。

泡消火薬剤は、水のみでは消火困難な火災に対し、冷却効果に加え、窒息効果により消火します。また、普通火災（木、紙、布等身近な物が燃える火災）で使用する泡消火薬剤（専門的にはクラスA薬剤と言います。）は浸透性が高いことから、再燃しやすい林野火災にも有効であることがわかりました。

この訓練により、泡消火薬剤の有効性を再確認するとともに、今後も継続して訓練に取り組み、現場対応能力の向上に努めて参ります。



『119』は、消防車・救急車を要請する専用電話です。通報の際は、あわてず落ち着いて、わかる範囲で質問に教えてください。間違えて119された方は、「間違いです。」と伝えてください。

令和7年度危険物安全週間推進標語 「危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る」



消防署ト

令和7年6月2日（月）から6月6日（金）まで、西脇市及び多可町内の中学2年生12名が西脇消防署で消防の業務や訓練を体験しました。

全員が真剣な眼差しで訓練に取り組み、人命に直結する消防業務の厳しさや命の大切さ、消防の使命について学んでくれたことと思います。

今回の経験を、今後の学生生活や将来設計に生かしていただきたいと思います。



トライやる・ウィーク

学校・自主防災組織

合同防災訓練実施

令和7年1月25日（土）、加東市立滝野中学校にて、滝野中学校関係者、加東消防署、加東警察署、陸上自衛隊青野ヶ原駐屯地、他12機関による学校・自主防災組織合同防災訓練を実施しました。

山崎断層を震源とする震度6弱の地震により、市内で大きな被害が発生したとの想定で、各機関との連携強化を図りました。

今後も、警察や学校、事業所等と連携機会を設け、災害対応能力の向上に努めて参ります。



火災対応救助

／FFS、RIC／T訓練実施



令和7年5月21日（水）、28日（水）の2日間、加東消防署内にてFFS（ファイヤーファイターサバイバル）、RIC／T（緊急介入隊員／チーム・トレーニング）の訓練を実施しました。

この訓練は、消防士が屋内活動中に予測できない危険や窮地に陥った際に、自分自身で生き残るため、または仲間の介入によって救出する訓練です。

全国での消防職員の殉職件数はゼロになっていません。

市民の皆様の命、財産を守ることに、そして、職員自身が命を失わないよう技術の向上につなげていきます。

消防車・救急車の要請は局番なしの 119



『#7119』 救急医療相談

救急安心センターひょうご（#7119）ってナニ？

令和7年7月11日より兵庫県全域で『#7119』救急医療相談が可能になりました。

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあると思います。

そんなとき、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口が救急安心センターひょうご（#7119）です。

#7119 に寄せられた相談は、医師、看護師、トレーニングを受けた相談員等が電話口で傷病者の状況を聞き取り、「緊急性のある症状なのか」や「すぐに病院を受診する必要があるか」などを判断します。相談内容から緊急性が高いと判断された場合は、迅速な救急出動につなぎ、緊急性が低いと判断された場合は、受診可能な医療機関や受診のタイミングについてアドバイスを行います。

また、「体調が悪いけど、どこの病院に行ったらいいか」といった相談に対しても、受診可能な医療機関を紹介します。

#7119 の利用方法



こんなときに#7119！

- ▶こんな症状で救急車を呼んでいいのかな…
- ▶具合が悪いけどすぐに病院に行った方がいいかな…
- ▶手遅れになったらどうしよう…
- ▶近所の目が気になるから、救急車を呼ぶのは控えよう…

#7119 〈全日 24 時間対応〉

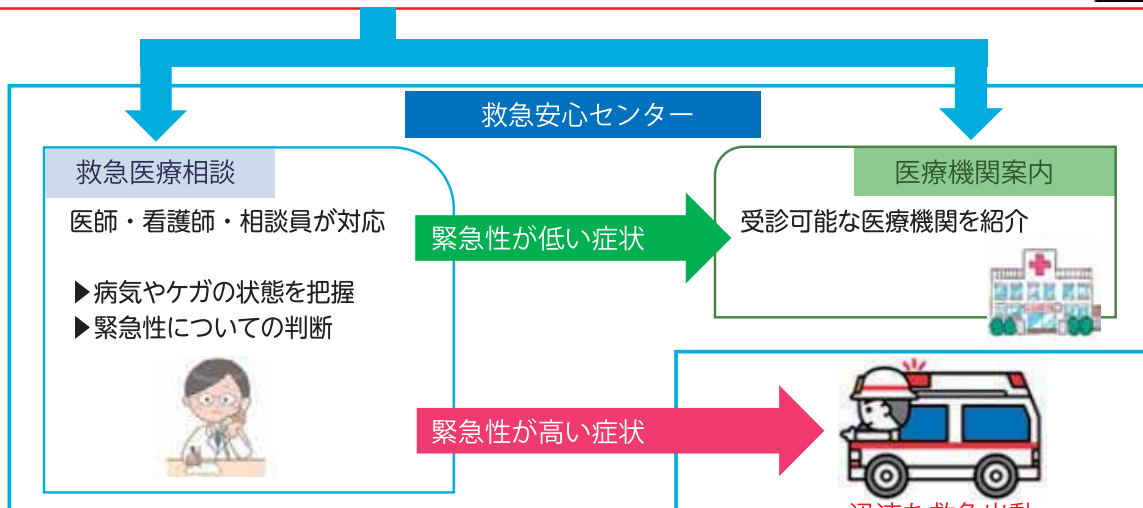
オペレーターや自動音声により応答があります。
希望に応じ

救急医療相談

医療機関案内

を選択してください。

緊急の場合は迷わず 119 番へ！



※現在治療中の病気の治療方針、医薬品の使用方法、介護・健康・育児などの相談は受けられません。

※相談は無料ですが、通話料は利用者の負担になります。

『#8000』 こども救急電話相談

「#8000」は、こども救急相談専用です。

小児科（15 歳未満）の場合は、「#7119」ではなく「#8000」こども救急電話相談へ連絡してください。

【利用時間】

平日・土曜日 18：00～翌朝 8：00
日曜日・祝日 8：00～翌朝 8：00

北はりま消防テレホンサービス

災害案内 0795-48-0143

病院案内 0795-48-0147

【病院案内利用時間】

平日 17：30～翌朝 8：30

土曜日・日曜日・祝日 9：00～翌朝 8：30

※ 受診をされる場合は、事前に必ず医療機関へ電話確認をしてください。

緊急の場合は迷わず 119 番へ！

〈予防救急〉に取り組もう！

救急車で搬送される事故の中には、転倒や転落によるケガ、窒息など、「ほんの少しの注意」や「事前の対策」で予防できるものがたくさんあります。このように、日頃から注意を払い、救急車を呼ばなくてはならないようなケガや病気をしないような対策・環境づくりに取り組むことを〈予防救急〉といいます。

昨年、北はりま消防組合の救急出動は、過去最高の 8,099 件となりましたが、この中には、〈予防救急〉で防げた搬送も多くあり、特に高齢者の皆様にこの傾向が高く見られました。

今回は高齢者の〈予防救急〉についてご紹介します。事故の原因を知り、対策・環境づくりをしましょう！

1位

転倒

階段、玄関、廊下など

- 段差につまずかないように気をつけましょう
- 転倒を防ぐために整理整頓を心がけましょう
- 階段、廊下、玄関、浴室など滑り止め対策をしましょう



2位

転落

階段、ベッド、脚立、椅子など

- 階段などには手すりを配置しましょう
- ベッドにも転落防止の柵をつけましょう
- 脚立などを使用して作業をする時は補助者に支えてもらいましょう



3位

窒息

食物（餅・肉等）、菓等の包装など

- 細かく調理。ゆっくりよく噛むことで窒息予防
- お茶などの水分を取りながら食事をしましょう
- 急に話しかけて、あわてさせないように気をつけましょう



4位

ぶつかる

家具、人、柱、ドアなど

- あわてず、周りをよく見て行動しましょう
- 通路などに物を置かないようにしましょう
- 暗いところは十分な明るさを確保しましょう



事故を防ぐために

- 事故防止には家族などの協力も大変重要です
- 熱中症対策には、早めの水分補給を心掛けましょう



人は誰でも年齢を重ねれば、足腰が弱くなり転びやすく、ケガをしやすくなります。そして、ケガをしてしまうと入院となる場合が多くなっています。このため、日頃から油断せずケガを未然に防ぐことが大変重要となります。

皆様もぜひ〈予防救急〉に取り組み、安全で健やかな生活をお過ごしください。

熱中症の怖さ

防げる病氣！

救急隊員 Y・D

ある夏の正午過ぎ、「田んぼ道に男性が倒れている」と救急要請がありました。

現場に到着すると、通報者らしき方が、倒れている男性に心臓マッサージをされていました。

救急隊が観察すると、呼吸と脈拍はなく心肺停止状態ではありましたが、倒れてから時間はあまり経過していないようでした。炎天下で男性の体は非常に熱く、体感で体温は40度を超えていたように思います。

心肺蘇生法を継続しながら男性を救急車に収容し、すぐに救急救命処置（気道確保・静脈路確保）を行い、医療機関へ搬送しました。

病院へ駆けつけた奥さんと子どもさんは、医師から蘇生は困難であるとの話を聞かれ、処置台の横で膝から崩れ落ちたあの光景が今でも忘れられません。特に持病もなく、元気な方だったとお聞きしました。

男性は、田んぼ道を歩いている時に熱中症が原因で倒れ、動けず助けも呼べず、心肺停止になった可能性が高いということでした。

私は、救急隊員としてさまざまな救急現場へ出動してきましたが、熱中症が原因で心肺停止になられた傷病者の救急対応は初めてのことでしたので、今も記憶に残っています。

近年は夏になると、テレビや新聞、インターネットの記事で「熱中症」という単語を毎日のように目にしている方は少ないと感じます。

「まだまだ若いから大丈夫」、「普段から暑さに慣れている」、「少し外に出掛けるだけ」と油断していると危険です。体調が悪い日、特に小さなお子様や高齢者の方々は熱中症になるリスクが高くなります。自分のために、そして家族のために、この手記を読んでくださった方はこれまでに以上に熱中症に注意してください。

熱中症で倒れた方の命を救えなかった救急隊員からのお願いです。

～救える命を救いたい～ 救急車は限りある資源



適正利用に御協力をお願いします



災害統計はこちら

～熱中症予防のために～ 熱中症予防のための情報資料サイト (厚生労働省 HP)

厚労省 熱中症予防



スマートフォンでも見られます



がんばれ!
しょうちゃん
きゅうちゃん
その19



二刀流の巻

二刀流の
大活躍!

ようし!
僕たちも
二刀流だ

しょうちゃん
大丈夫?

2線放水で
二刀流だあ

やっぱり
支えられないよ

二頭龍だね

わあ龍だ

にと(りゅう) 追う者
一発も得ず〜

すごいね!

北はりま消防の隊員は
火災が発生すれば消防隊員に
救急車が呼ばれば救急隊へ
早変わり!
みんなが二刀流なんだよ!

問合せ先

北はりま消防本部 消防部総務課

☎0795(27)8119

<https://kitaharima119.net/home/>

・試験内容は、北はりま消防本部、各消防署に
あります。また、ホームページからもダウン
ロード可能です。

・試験内容の詳細については、試験案内をご覧
ください。

その他

試験内容
筆記試験、体力試験

試験会場
西脇市野村町1796-1502
西脇消防署

試験日時
9月21日(日) 午前8時30分〜

受付期間
7月22日(火)〜8月15日(金)

採用人数
5名程度

消防職員募集

わが家の

消防士



ありささん

ふみとさん

えいとさん

多可町の安全は君たちにまかせた!



あさひさん

これから二刀流いっしょに
大活躍するからね!



家族からの
メッセージも
載せてるよ!



あいりさん

ゆいとさん

いい笑顔! 最高だよ!

わが家の 消防士 大募集!!

あなたのお子様も消防士や救命士になって
写真を撮ってみませんか?

北はりま消防本部には約100センチサイズ
の活動服や救急服があります。

お気軽にお問合せください。



お問い合わせ先

消防部予防課 (平日 9:00~17:00)

電話:0795-27-8122

E-mail:fd_yobo@kitaharima119.net

ご厚意に感謝します

令和7年6月6日(金)、菅野包装資材株
式会社(本社加西市繁昌町)様から加西
消防署へ、可搬型屋外放送機材一式が寄
附されたことに伴い、寄附贈呈式を執り
行いました。同事業所から加西消防署へ
の寄附は、令和3年度から毎年されてお
り、今回で5回目となります。

寄附物件は、今後、加西消防署で大切
に使用させていただきます。

